

<タイプ1>

- ・自分の心構えや行動によって、人生の感じ方が変わってくるものだと思った。私も日々成長できるように人生を歩んでいきたいです。
- ・夕食会での後での感想がとても自分に当てはまっていた。
- ・偉い人には、ライバルも信頼できる友もいる。
- ・動画を使って講義をするのは、集中力がきれにくくて良いと感じた。
- ・ビデオの映像もあり、分かりやすかった。
- ・目標になる人を見つけ、似ようとする性格まで似てくると知ったので、早く見つけたい。
- ・“成功した人は誰もが失敗した人だ”というのがすごく印象に残った。
- ・西田幾太郎の「世界を見ようとする時、世界もこちらを見ている」これに惹かれた。

<タイプ2>

- ・正岡子規の名前は知っていたが、まさか現代のブログの元となる形を作った人だとは思っていなかった。西田幾太郎の「人は人、吾は吾なり、とにかく吾行く道を吾は行くなり」という言葉に共感を覚えた。サッカー選手の名言を是非取り上げてください。
- ・偉人の名言を聞いて心に残った。
- ・仙川に武者小路実篤の公園があることを知らなかったの、近くに行く機会があれば寄ってみたい。
- ・仙川は家から近いので、武者小路実篤の記念講演に行ってみよう。
- ・哲学の話が中心だったが、とても新鮮だった。内容が難しかったが、プリントや動画をみて自分なりに納得できるところがあり興味深い講義が聞けた。
- ・何十年も前の作品が今でも代表作や誰でも知っているようなものとして残っているのはすごいことだと思う。

<タイプ3>

- ・ノーベル賞の話も聞いて良かった。
- ・ガンジーの、「明日死ぬと思え、しかし永遠に生きると思い学べ」という言葉が胸に響いた。
- ・武者小路実篤の世界でたった一人の価値のある人間を願った。

<タイプ4>

- ・志賀直哉の、のぼる→のボール→野球 が面白かった。「友」というテーマのもと夏目漱石と正岡子規の関係が分かるような手紙を聞けて、良い関係であったことを感じた。
- ・動画で実際の行動や顔、表情を見られたのは面白かった。

<タイプ5>

- ・昔の著名人の名言に関して、たくさん学んだ。
- ・今日の講義は偉人達の言葉を聞いてすごくいいなと思った。
- ・どんなにすごい人でも友達やライバルがいるからこそ頑張れるのだと思った。
- ・武者小路実篤の生き方が印象に残った。漱石の論じていた道楽と職業観に関して共感できる部分があり興味深かった。
- ・過去の資料として、声が残っているのが、とてもすごいと思った。
- ・エニアグラムの、夕食会の席では、自分の考えに合う所が多くおもしろいと思った。
- ・目標とする偉人を早く見つけたいと思った。
- ・8ミリのフィルムの映像を視ることができ、とても新鮮だった。
- ・地元で武者小路実篤の記念館があることは知っていましたが、行ったことがなかった。少し興味が出たので、行ってみようと思った。鈴木大拙の「年をとらないと分からないことがたくさんある」という言葉はすごく感心した。

<タイプ6>

- ・芥川龍之介など過去の偉人が楽しそうにしている映像があるのが、意外で面白かったです。
- ・視覚的な驚きが多かった。横山大観が気さくそうな人だと思わなかったし、菊池寛が無口な人だと知らなかった。夏目漱石が職業を地図のようにはっきり分野ごとに区別するという考えを持っていたことを知り、それが今、我々が便利にキャリアを学び、職業選べるので、夏目漱石のおかげだと改めて実感した。
- ・成功するためには、親しい友人が必要だと感じた。改めて友人は大切にしていけないといけない。
- ・性格がその人の運命である。という言葉があったが、私はそのことに納得した。
- ・偉人の名言を知ること、これからの人生設計に活かすことができる。
- ・福井謙一、夏目漱石、西田幾太郎について勉強になった。

<タイプ7>

- ・志賀直哉の作品を読んだことば無かったが、“小娘”との会話で強い興味を持った。西田幾太郎の生涯と黒板の述懐など、哲学者の文章は面白いので、著書を読んでみようと思った。
- ・自分が持っている手段はどんなものなのだろう。生きている内に見つけたい。資料やビデオで、誰もが悟ったようなことを言っていて、「どうしたらこんなことが言えるのだろう」と思った。
- ・芥川龍之介や大隈重信などの昔の凄い人たちの動いている姿を見れてすごく良かった。
- ・創造は哲学だと思った。西田幾太郎が、哲学は自己を否定すること。自己を忘れることを学ぶのであると言っているが、難しいが、分かる気がする。今日の講義は難しかった。
- ・漱石お道楽と職業の文も哲学に準ずる何かがあると感じた。
- ・歴史の人物の残した名言を聞くのが楽しくなった。
- ・西田幾太郎が考えた哲学を詳しく調べたいと思った。
- ・ガンジー言葉が身に染みた。夕食会での7タイプが、とても自分と似ていた。
- ・明日死ぬと思って生きよ。性格がその人の運命である。人の言葉で人生を左右されることがあると感じた。

<タイプ8>

- ・エニアグラムのタイプ別のプリントを見るのが楽しい。
- ・難しい内容だった。少しは理解できる部分があった。
- ・人を真似しないで失敗を恐れてはならないという言葉が印象に残った。ノーベル賞を授与されるような人は考え方も違うのだと感じた。
- ・凄いと思う人は難しい言葉をのこしていく。その言葉を受け、どう考えて自分の世界観が変化していくのか、自分をとても面白く変化させてくれる。
- ・昔のヨーロッパの金持ちは、学校へ行かずに家庭教師をつけて勉強をしていて、友達ができないからかわいそうだと思う。しかたがないと言う人間ほど、しかたがない人間はいない。という言葉に、自分はあてはまってしまっているの、考え方を変えようと思った。
- ・もっと偉い人について知りたいと思った。
- ・「私の人生は簡単なものだ」と聞いてとてもすごいことだと思った。
- ・まだ動画が残っているということなので、講義が終わっても見ようと思います。
- ・今日も得るものはなかった。
- ・色々な人の名言を知ることができて良かった。
- ・空に星、地に花、人に愛
- ・春学期の図解の授業を、今学期にも生かしていきたい。
- ・本を読むことが少ないので、授業でこの人たちのような言葉を行けるのは、とても良い機会だと思う。頭の中で図にすると少し理解が深まった。
- ・横山大観の笑っている姿や、芥川龍之介のトランプをしている姿を見て、意外と優しそうだった。
- ・日頃から、小さな気づきや大事だと思った言葉をメモしていきたい。

<タイプ9>

- ・これからも、名言の歴を楽しみにしている。また、興味を持った名言の人を、家で調べるようにしたい。
- ・あれで偉人になれるなら、オレも偉人になれる。
- ・一人ひとりの言葉が深かった。
- ・鈴木大拙の著書は、禅の世界観を用いて日本文化を伝えようとしていた。
- ・絶対矛盾自己同一が難しいと思った。たくさん名言が聞けて、すごくためになったと思う。
- ・ガンジーの言葉が印象に残った。
- ・現在の大学のキャリア教育は漱石がかつて空想していたことが実現していることを知って、改めてすごい人だと思い知った。
- ・芥川龍之介が動いている映像を観ることができて良かった。写真でしか見たことが無い人が動いている姿は、不思議だった。
- ・若い内はやりたいと思うことをやっていけばいいという言葉が印象に残った。
- ・メモしないと忘れてしまう事こそ大事なことだという言葉が心に響いた。ノーベル賞という最近話題になっている人たちの名言を知れたのが有り難かった。自分だったら自慢して街中を回る。
- ・志賀直哉の暗夜行路は是非読んでみたい。漱石の「道楽と職業」の話は興味深かった。

- ・心に残った言葉は、「世界を見ようとする時、世界もこちら側を見ています。」です。自分は一人しかいなくて、正しい行動をしなければダメだと感じた。
- ・1つの行動するときには、全部に責任を持って動かなければならないと思う。
- ・初めてのブロガーが正岡子規だと聞き、何だか面白いと感じた。
- ・細かくメモを取る事もとても大切だと思った。
- ・偉人たちの言葉を聞き、自分とは発想力が全然違うと感じた。
- ・西田幾太郎という人物にとっても興味が湧いた。西田幾太郎は日本最高峰の哲学者で自分を無にする方法を哲学のテーマとしていた。「人は人、吾は吾なり、とにかく吾行く道を吾は行くなり」に興味を持った。西田幾太郎という人物をさらに知りたくなった。

<タイプ?>

- ・ガンジーの「明日死ぬと思って生きよ」考えさせられた。また、漱石の「道楽と職業」は興味があった。
- ・ビデオ学習が分かりやすかった。「昨日の自分と今日の自分は違う」という言葉は、深く考えるととても考えさせられる。
- ・今度は武将などを、取り上げてほしい。
- ・偉人たちはみな世の為に生きてきたのだと感じた。自分の欲よりも人のために生きて行くと自然と自分の為になるのではないかと思った。
- ・偉人はみな独自の考え方を持っているの、人の真似する偉人はいないと思った。
- ・偉人の生の声が聴けたり、心に響く言葉も多くあった。
- ・正岡子規が、今でいう「ブログ」を始めたというのはとても驚いた。また野球という言葉も持ち込んだと聞いて、興味が湧いた。
- ・高村光太郎記念館に行ってみよう。
- ・才能というものを寿命を縮めてでも、悪魔に身を打つても欲しい、ことに共感したい。
- ・高村光太郎が妻と出会った後に書かれた文章は、彼の一途な妻への気持ちが、良く分かった。
- ・西田幾太郎は矛盾しながらも自己同一を保っている。とても不思議な人だと思う。「無の哲学」は、すごく興味深いものでした。
- ・一番印象に残っているのは「龍となれ雲自づと来るたる」です。
- ・志賀直哉さんの凄さが分かった。尊敬した。
- ・名言一つ一つが響いた。偉人から学ぶことが多く、もっと深く知ってみたいと思った。
- ・自分の世界を持つことは素晴らしいと思った。
- ・大倉喜七郎の映像は、ペーブルースといった米国の選手たちの貴重なプライベートな映像だと思った。
- ・様々な人たちの言葉を活かし、人生を豊かにできれば良いと思った。
- ・昔の偉人の歩く姿を初めて見た。
- ・ノーベル賞を受賞した人たちの言葉は、とても心に残るものだった。中卒の人が多くて驚いた。私がなぜ大学にいるのだろう、と思いました。
- ・現在のキャリア教育が夏目漱石から始まっていることを知らなかった。